

健やか親子21推進協議会

課題3

小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備

NPO難病のこども支援全国ネットワーク

小林 信 秋

課題3グループの幹事団体

- 全国保健所長会
- 難病のこども支援全国ネットワーク
- 日本看護協会
- 日本小児科医会
- 日本小児科学会
- 日本小児看護協会
- 日本小児総合医療施設協議会
- 母子衛生研究会

年度ごとの幹事団体とこれまでの取り組みー1
平成13年(2001年)難病のこども支援全国ネットワーク
準備期間

平成14年(2002年)日本看護協会

シンポジウム「小児慢性特定疾患患児支援ネットワークを考える」

※全国養護教諭連絡協議会との連携のきっかけ。

平成15年(2003年)日本小児科医会

“麻疹撲滅”。毎年3月第1週を「予防接種週間」と定め、この運動に参加した小児科医院で、時間外や休日でも予防接種が受けられる体制がとられるようになった(日本小児科医会と日本医師会の連携)。

年度ごとの幹事団体とこれまでの取り組みー2

平成16年(2004年)全国保健所長会

“妊産婦、子育て中の飲酒・喫煙ゼロ”。都内の妊産婦の喫煙・飲酒の実態調査、妊産婦の喫煙・飲酒防止ポスター、妊婦の受動喫煙防止ストラップの作成・配布。

※全国保健所長会が中心となり実行。

平成17年(2005年)母子衛生研究会

平成17年から3年間、“事故防止”をテーマに厚生科研費にて実施。

課題3グループの全体会議開催。

平成18年(2006年)日本小児看護学会

“事故防止”

妊産婦の受動喫煙防止ストラップ



妊産婦の喫煙・飲酒防止ポスター



年度ごとの幹事団体とこれまでの取り組みー3

平成19年(2007年)日本小児科学会

“事故防止”

平成20年(2008年)日本小児総合医療施設協議会

フリーディスカッション

平成21年(2009年)難病のこども支援全国ネットワーク

「院内学級を持つ小児病棟」30.1%→26.1%

「遊戯室を持つ小児病棟」68.6%→37.0%

「在宅医療支援体制の整備」16.7%→14.1%

“健やか親子21シンポジウム”

平成21年11月13日(金)13:00~17:00

場所:国立成育医療センター講堂

“子どもの権利条約”

目標値調査の問題点(院内学級)

- 院内学級＝地域の小中学校が病院内に教室を開設し、教員も常駐している。
- 分教室＝特別支援学校(養護学校)が病院内に教室を開設し、教員も常駐している。
- 訪問教育＝病院からの依頼により、特別支援学校等から教員が派遣され、開設されている教室で授業する。
- 訪問教育＝児童が在籍している学校から教員が病院を訪問してベッドサイドで授業する。

目標値調査の問題点(在宅医療支援体制)

- 訪問看護サービス、訪問介護(医療的ケアの伴う)サービス、一時預かり(ショートステイやレスパイトケア)、リハビリテーション。
- 重症心身障害児・者のミドルステイ・ロングステイ。
- 年齢によるニーズの変化。
- 幼稚園・保育園、学校は子どもの療育にとって極めて有効。

課題3グループの問題点

各幹事団体からの意見

- 課題3は挙げられている事柄は多岐にわたり、かつ、多くは課題1、2、4と関連している。
- 幹事団体が固定しているので、同じテーマが続いてしまう傾向がある。
- 幹事団体の取りまとめ役も一回りして、そろそろ息切れがしている。延長される4年間は幹事団体の入れ替わりをして新しい視点で取り組みをしては・・・
- MRワクチンの接種率の調査を。各県毎の格差が大きいようだが数字がない。
- 小児保健法(案)の国会通過にご協力を。
- 慢性疾患児の在宅支援に“人”“金”の支援を！

NPO難病のこども支援全国ネットワーク 健やか親子21関連の活動

- 相談活動：電話相談室、遺伝（先天異常）特別相談、ピアサポート活動。
- 交流活動：サマーキャンプ“がんばれ共和国”を全国6ヶ所で開催、のべ900人が参加。
- 親の会活動支援：親の会連絡会、勉強会など。
- 社会啓発活動：病弱教育セミナー、養護教諭セミナー、こどもの難病シンポジウムの開催。プレイリーダー（遊びのボランティア）の養成と派遣。啓発人形劇「みんな友達」。